

同上流部。シェイワ郡では最大のワジ(涸れ川)でケシュマンド山脈南麓からの最大の洪水路。この数年間ほとんど激しい流れはなかったが、11月1日未明からの断続的降雨の後、押し寄せた。洪水はシギ用水路を越えて低地に注ぎ込む。



PMS が手がけて昨年完成したばかりの、ガンベリ排水路主幹。水深 3.0m前後の猛烈な急流が下り、排水路の効用を印象付けた。ガンベリ沙漠に押し寄せる洪水は、先の洪水路(ワジ)とは別に開拓地全域を襲う、一部は用水路に落ちてワジと合流し、その他は合して本排水路に注ぎこむ。湿地発生の因を成す。



ダラエヌールでは夜半から未明にかけて降雨が続き、渓谷の主なワジに激流が下った。写真はマルワリード用水路のシェイワ分水路約2km地点で、洪水が国道を横断し流れ下るのを両側で待つ通行人たち。



10月の豪雨後に浚渫したばかりのマルワリード用水路、約9km地点。土石の流入で水路を塞いで溢水した。 以下マルワリード用水路各地の様子。







Gサイフォンに隣接する盛土水路 (3.7 km地点)。盛土高 17m以上で、最も危惧されてきた場所だが、現在まで決壊はない。溢水による表土の流失が観察される。



3.3 km地点 (E地区、幅 16mの橋)、対策を考慮した矢先の鉄砲水通過。渓谷の水量はかなりあり橋が狭すぎる。





マルワリード用水路 A 区を横断するジャリババ渓谷からの鉄砲水。おそらくアフガニスタンでも最大級の洪水路(ワジ)。2014年の改修で、洪水通過の橋の幅を 16mから 32mに倍増したあと、用水路への洪水流入はなくなっている。



取水口付近の400m地点。ジャリババ北側の降雨が押し寄せ、用水路土手を破壊。



取水口付近。50m地点。10月の集中豪雨あと浚渫したばかりだったが、土砂に埋没。

